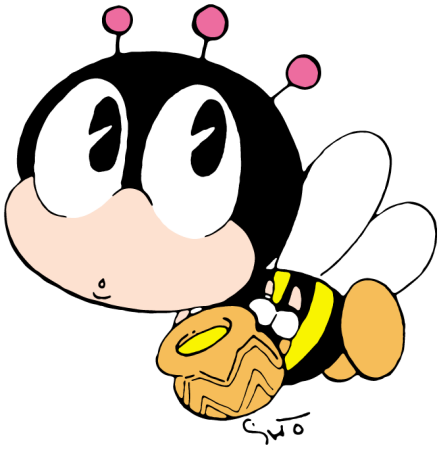
令和元年度

生涯学習講座の実施状況調査報告書



沖縄県教育庁生涯学習振興課

令和2年 7月

はじめに

本県では「第一次沖縄県生涯学習推進計画（平成7年度～平成13年度）」、「第二次沖縄県生涯学習推進計画（平成14年度～平成23年度）」に基づき、学習機会の提供や指導者の養成・確保、生涯学習情報提供システムの整備、生涯学習関連施設の整備・充実を図るなど、生涯学習環境づくりを進めてまいりました。

その実績を踏まえ、平成23年度に「第三次沖縄県生涯学習推進計画（平成24年度～平成33年度）」、平成29年度に「第三次沖縄県生涯学習推進計画（後期）」を策定し、潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現を目指して全部局及び関係機関が一体となり推進しているところであります。

今回実施した「生涯学習講座の実施状況調査」は平成11年度から毎年実施してきた調査項目を、平成25年度より文部科学省による「社会教育調査」に準じたものとしております。この調査は、各市町村における生涯学習講座の実施状況を把握し、県民の生涯学習に対する動向を集約・分析することで、本県の教育施策の基礎資料とすることを趣旨としています。

この調査が、関係者や各方面で広く活用され潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現に役立てていただければ幸いです。

結びに、本調査を実施するにあたり御協力頂いた市町村教育委員会及び関係各位の皆様方に、深く感謝申し上げます。

令和2年7月

沖縄県教育庁生涯学習振興課
課長　下地 康斗

「生涯学習講座の実施状況調査」実施要項

1 調査目的

各市町村における生涯学習講座の実施状況を調査し、県民の生涯学習に対する動向を集約・分析することで、本県の教育施策の基礎資料とする。

2 調査内容

各市町村教育委員会が直接実施した講座や公民館講座等の講座名、講座回数、講座内容、対象者、受講者数等

3 調査対象期間　平成31年4月1日から令和2年3月31日までの1年間

4 調査対象　沖縄県内の全市町村

5 調査項目

(1) 対象別

〇青少年対象

青少年を対象とする少年教室、青年学級・青年教室等

〇成人一般対象

成人一般を対象とする成人学級・成人学校・市民学校・生活学校・専門講座・夏期講座・市民大学等

〇女性のみ対象

女性のみを対象とする女性学級・女性講座・女性教室・女性大学等

〇高齢者のみ対象

おおむね60歳以上の高齢者のみを対象とする高齢教室・高齢者学級・高齢者大学・老人大学等

〇その他

男性のみ、幼児と保護者など上記以外で、複数が対象となっている場合を含みます。

(2) 学習内容別

別紙1を御参照ください。

学習内容別−区分　　別紙Ⅰ

分野	学習内容	講座の具体例
教養の向上	外国語	楽しい英会話体験教室、フランス語講座、ハングル語講座
	文学	文学講座
	歴史	西洋史講座　琉球史
	自然科学	自然科学史講座
	哲学・思想	西洋の哲学者たち
	心理学・カウンセリング	ロールプレイング、カウンセリング講座
	映画鑑賞	○○関東作品鑑賞講座、地域ゆかりの映画鑑賞講座
	芸術鑑賞（音楽・演劇等）	伝統文化鑑賞講座、音楽いろいろ講座
	自然観察・天体観測	バードウォッチング教室、磯辺の観察講座、冬の星座観察講座、昆虫教室、地層観察講座
	その他	
趣味・けいこごと	華道・茶道・書道	茶道教室、書道教室
	俳句・短歌・川柳	俳句教室　琉歌
	将棋・囲碁・カルタ	囲碁教室・親子将棋教室
	音楽実技（合唱・演奏・演劇等）	楽器教室、ギター、ウクレレ、ピアノ、吹奏楽、大正琴、コーラス、カラオケ
	ダンス・舞踊	社交ダンス講座、ジャズダンス講座、ヒップホップ、フラメンコ
	芸能（日舞・詩吟・民謡等）	日本舞踊、詩吟講座、民謡講座、漫才、落語、琉球舞踊
	美術実技（絵画・版画・彫刻等）	水墨画講座、版画教室、絵手紙教室
	手工芸・陶芸	親子陶芸教室、染色、アートフラワー、革細工、ステンドグラス、パッチワーク、刺繍
	工作・模倣	夏休み工作教室、紙飛行機、竹とんぼ、カービング、竹細工、貝細工
	写真・ビデオ	デジタルカメラ教室、デジタル画像処理講座、ビデオ編集講座
	パソコン・IT	IT入門講座、パソコン基礎講座、インターネット入門講座
	その他	
体育・レクリエーション	球技（テニス・卓球・バレーボール・サッカー等）	初心者テニス教室、卓球教室、バレーボール入門教室
	ランニング	健康ランニング講座、ジョギング教室
	水泳	水中ウォーキング教室、クロール入門教室
	武道（柔道・剣道等）	柔道、剣道、空手、合気道、少林寺、太極拳
	体操・トレーニング・ヨガ・エアロビスク	体操、エアロビクス、竹踏み、ストレッチ教室、ダンベル教室
	ニュースポーツ	ゲートボール、ティーボール、スポーツチャンバラ,ビーチボール,ターゲットバードゴルフ
	ゴルフ・スキー・スケート	初心者スケート教室,ゴルフ教室
	ハイキング・登山	健康ハイキング講座,軽登山入門講座,団塊世代のための山歩き講座
	野外活動	野外体験教室、ウォークラリー、農業体験教室、親子キャンプ教室
	その他	
家庭教育・家庭生活	育児・保育・しつけ	家庭教育学級、子育て講座
	くらしの知恵・技術	実用講座、家庭法律、家計簿、手紙、センスアップ、テーブルマナー
	読書・読み聞かせ	紙芝居、朗読、親子読書会
	生活体験・異年齢交流	通学合宿、セカンドスクール、合宿通学、子ども生活体験教室
	健康・生活習慣病予防・薬品	健康講座、健康料理教室、指圧教室、健康学
	料理・食品・食生活	子ども料理教室、お正月料理、郷土料理、ティーパーティ
	年中行事・冠婚葬祭	お正月門松としめ縄づくり
	介護・看護	介護講座
	生活設計・ライフプラン	生きがい教室、生活設計講座
	住まい・住環境	住まいのお手入れ講座、家庭で行う防犯対策講座
	安全・災害対策	家庭での災害対策講座、家庭で行う防犯対策講座
	洋裁・和裁・編み物・着付け	着付け教室、浴衣づくり
	園芸（ガーデニング・盆栽等）	園芸教室、冬のガーデニング教室、野菜作り教室、ハーブ栽培教室、箱庭づくり、家庭菜園講座
	その他	
職業知識・技術の向上	農業水産技術	農業技術、酪農、栽培漁業、遺伝子技術
	工業技術	電気、土木、建築技術、自動車整備
	コンピュータ・情報処理技術	ワープロ、表計算、ホームページ作成、ネットワーク管理、コンピュータグラフィック、データベース、デジタル音楽
	知的財産（著作権等）問題	著作権講座
	メディアリテラシー	新聞の読み方教室
	経営・経理・事務管理	企業経営、事務管理、起業
	編集・制作	編集技術、イラストデザイン、レタリング
	その他	
市民意識・社会連帯意識	自然保護・環境問題・公害問題	環境講座、水の施設を訪ねる
	資源・エネルギー問題	エネルギー講座、水資源、食糧問題
	国際理解・国際情勢問題	国際理解講座、世界の中の日本
	政治・経済問題	現代政治講座、経済入門教室
	裁判員制度	裁判員制度
	科学技術・情報化	講座−情報化社会を生きる、暮らしに身近な科学技術教室
	男女共同参画・女性問題	男女共同参画セミナー、女性の生き方を考える講座
	高齢化・少子化	講座「高齢社会に備える」、ライフプラン設計講座、講座「少子化社会を考える」
	社会福祉（障害者・高齢者福祉・年金等）	手話教室、福祉講座、福祉祭り、点字教室、福祉体験
	同和問題・人権問題	人権教育
	教育問題	現代教育事情講座、こどもの非行防止講座
	消費者問題	消費者教育
	地域・郷土の理解	郷土史、地域学、地域自然史講座、地域の産業、郷土芸能
	まちづくり・住民参加	まちづくりゼミナール
	ボランティア活動・NPO	ボランティア体験教室、NPO研究会
	金融・保険・税金	賢い貯蓄教室、税金の仕組みがわかる講座
	自治体行政・経営	市役所活用講座
	地域防災対策・安全	防災訓練、交通安全教室
	その他	
指導者養成	施設ボランティア養成	施設ボランティア養成講座
	各種リーダー養成	子ども会指導者研修会、コミュニティリーダー養成講座、居場所コーディネーター養成講座
	団体育成・運営技術	PTA広報誌づくり教室、子ども会研修、サークル運営研修会
	その他	
その他	その他	

2 調査結果

(1)令和元年度市町村教育委員会対象者別講座状況

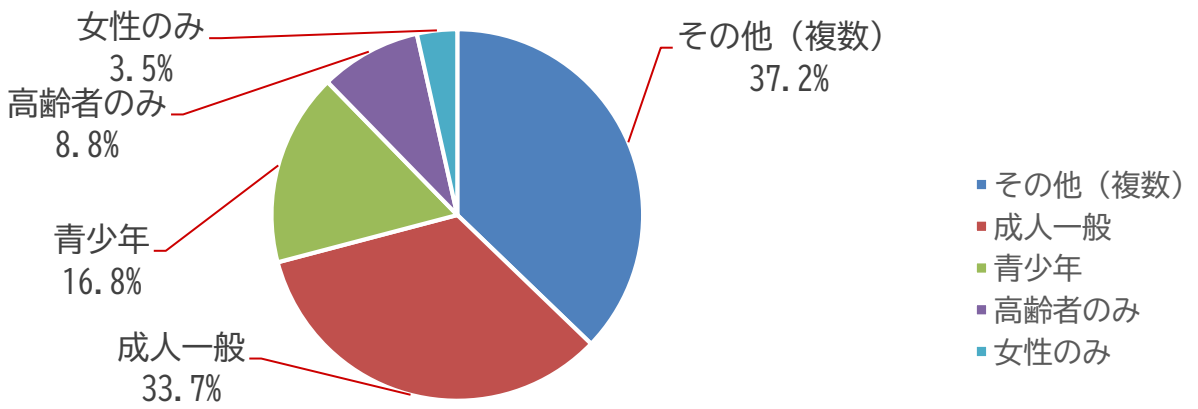
市町村教育委員会で実施した学級・講座の件数を対象者別にみると、
①「その他(複数)」・・・・・・565件(37.2%)
②「成人一般」・・・・・・・・・・511件(33.7%)
③「青少年」・・・・・・・・・・・・255件(16.8%)が上位となっている。
令和元年度に各市町村で開催された学級・講座数は平成30年度1,710講座から1,510講座と減少した。全体的な傾向として、「成人一般」と「その他(複数対象)」向けの講座が多く、全体の70.9%を占めた。講座数の少なかったのは、「高齢者のみ」、「女性のみ」対象の講座であり、特に「女性のみ」講座は(H30、115講座からR1、53講座)と減少が大きかった。

表1 令和元年度市町村教育委員会対象者別学級・講座数

	合計	青少年	成人一般	女性のみ	高齢者のみ	その他(複数)
市町村教育委員会	1,518	255	511	53	134	565
(平成30年度)	1,710	269	660	115	167	499
構成比	100%	16.8%	33.7%	3.5%	8.8%	37.2%
国頭地区	151	43	38	4	2	64
中頭地区	582	79	237	31	29	206
那覇地区	338	60	50	-	54	174
島尻地区	214	39	108	2	27	38
宮古地区	187	31	66	16	19	55
八重山地区	46	3	12	-	3	28

※地区分類は、教育事務所所管別市町村で分類している。

グラフ1 令和元年度市町村教育委員会対象者別講座状況(構成比)



(2)令和元年度市町村教育委員会学習内容別講座状況

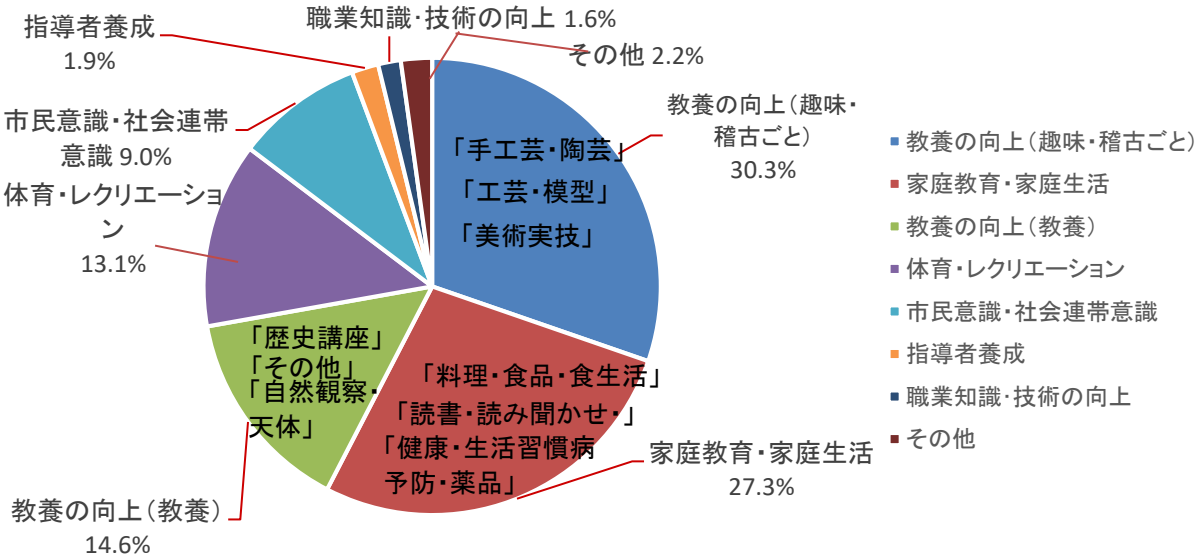
市町村教育委員会で実施した学級・講座の件数を学習内容別にみると、多い順に
①「教養の向上（趣味・稽古ごと）」・・・・460件（30.3%）
②「家庭教育・家庭生活」・・・・・・・・・・・・414件（27.3%）
③「教養の向上（教養）」・・・・・・・・・・・・・222件（14.6%）となっている。

①「教養の向上（趣味・稽古ごと）」では、染物教室や陶芸教室等の「手工芸・陶芸」が最も多く、次いで折紙教室・親子おもちゃ作り等の「工芸・模型」、「美術実技（絵画・版画・彫刻等）」が上位となっている。
②「家庭教育・家庭生活」では、「料理・食品・食生活」が最も多く、次いで「読書・読み聞かせ」「健康・生活習慣病・薬品」が上位となっている。
③「教養の向上（教養）」では、「歴史講座」が最も多く、「その他」、「自然観察・天体」が上位となっている。

表（2）令和元年度市町村教育委員会学習内容別学級・講座数

	合計	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他
		教養	趣味・稽古ご						
市町村教育委員会（R1）	1,518	222	460	199	414	24	137	29	33
（平成３０年度）	1,710	215	503	205	510	15	180	33	49
構成比	100%	14.6%	30.3%	13.1%	27.3%	1.6%	9.0%	1.9%	2.2%
平成30年度社会教育調査	118,950	17,475	25,673	22,530	37,817	890	10,877	1,362	2,326
構成比	100%	14.7%	21.6%	18.9%	31.8%	0.8%	9.1%	1.1%	2.0%
国頭地区	151	25	53	40	26	-	5	1	1
中頭地区	582	59	197	62	179	16	53	12	4
那覇地区	338	59	47	34	114	4	49	11	20
島尻地区	214	43	78	29	44	-	13	3	4
宮古地区	187	27	76	26	44	3	8	1	2
八重山地区	46	9	9	8	7	1	9	1	2

グラフ2 令和元年度市町村教育委員会学習内容別学級・講座数（構成比）



（3）対象者別の学習内容状況

青少年対象に実施した学級・講座件数を学習内容別にみると、
①「教養の向上（趣味・稽古ごと）」・・・・・・・72件
②「教養の向上（教養）」・・・・・・・・・・・・・・・56件
③体育・レクリエーション・・・・・・・・・・・・・・・49件が上位となっている。

成人一般対象に実施した学級・講座件数を学習内容別にみると、
①「教養の向上（趣味・稽古ごと）」・・・・・・196件
②「家庭教育・家庭生活」・・・・・・・・・・・・・122件
③「教養の向上（教養）」・・・・・・・・・・・・・・・70件が上位となっている。

女性のみ対象に実施した学級・講座件数を学習内容別にみると、
①「家庭教育・家庭生活」・・・・・・・・・・・・・22件
②「教養の向上（趣味・稽古ごと）」・・・・・・・21件
③体育・レクリエーション・・・・・・・・・・・・・・・・・5件が上位となっている。

高齢者のみを対象に実施した学級・講座を学習内容別にみると、
①「教養の向上（趣味・稽古ごと）」・・・・・・・39件
②「家庭教育・家庭生活」・・・・・・・・・・・・・35件
③体育・レクリエーション・・・・・・・・・・・・・・・24件が上位となっている。

その他（複数）を対象に実施した学級・講座を学習内容別にみると、
①「家庭教育・家庭生活」・・・・・・・・・・・・・197件
②「教養の向上（趣味・稽古ごと）」・・・・・・132件
③「教養の向上（教養）」・・・・・・・・・・・・・・・70件が上位となっている。

表3 令和元年度対象別学習内容別学級・講座数

	合計	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他
		教養	趣味・稽古ごと						
合計	1,518	222	460	199	414	24	137	29	33
青少年	255	56	72	49	38	5	18	10	7
成人一般	511	70	196	55	122	11	38	14	5
女性のみ	53	1	21	5	22	－	3	－	1
高齢者のみ	134	16	39	24	35	2	15	2	1
その他（複数）	565	79	132	66	197	6	63	3	19

表3 令和元年度対象別学習内容別学級・講座数

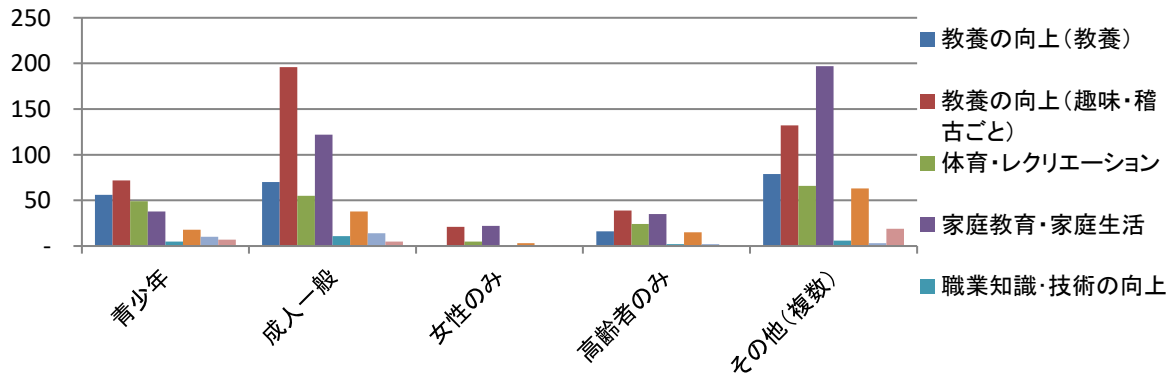
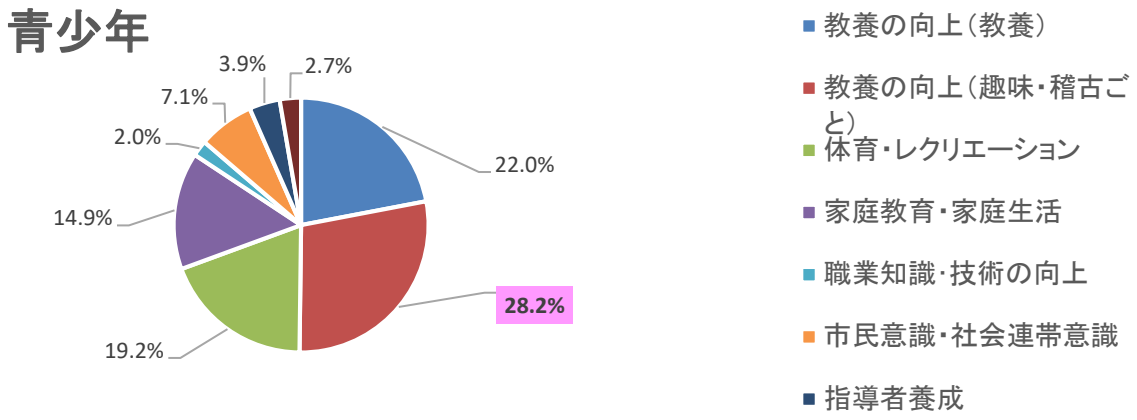
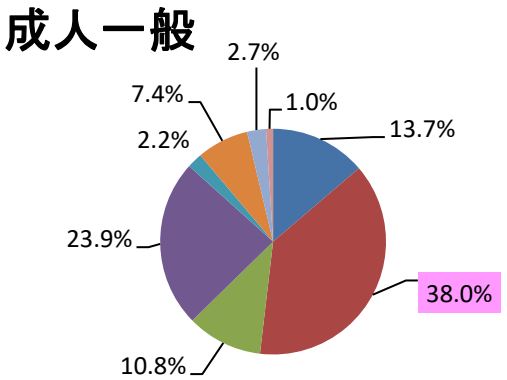


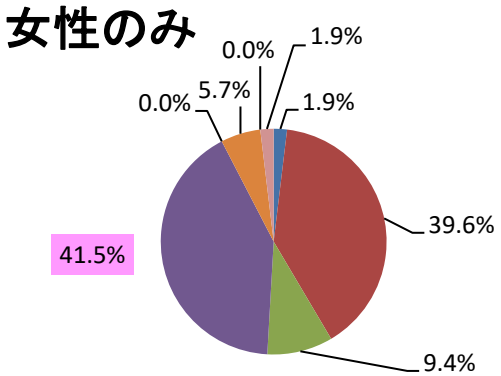
表4 令和元年度対象別学習内容別学級・講座数（構成比）

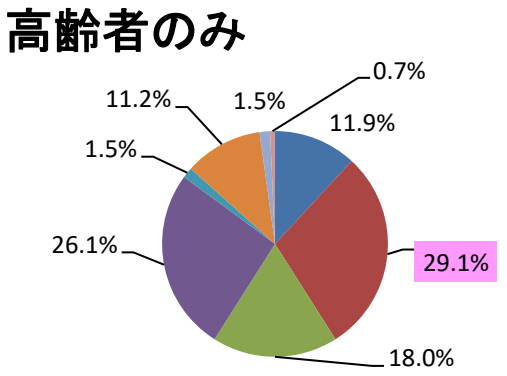
	合計	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他
		教養	趣味・稽古ごと						
合計	100%	14.6%	30.3%	13.1%	27.3%	1.6%	9.0%	1.9%	2.2%
青少年	100%	22.0%	28.2%	19.2%	14.9%	2.0%	7.1%	3.9%	2.7%
成人一般	100%	13.7%	38.0%	10.8%	23.9%	2.2%	7.4%	2.7%	1.0%
女性のみ	100%	1.9%	39.6%	9.4%	41.5%	0.0%	5.7%	0.0%	1.9%
高齢者のみ	100%	11.9%	29.1%	18.0%	26.1%	1.5%	11.2%	1.5%	0.7%
その他（複数）	100%	14.0%	23.4%	11.7%	34.9%	1.1%	11.0%	0.5%	3.4%

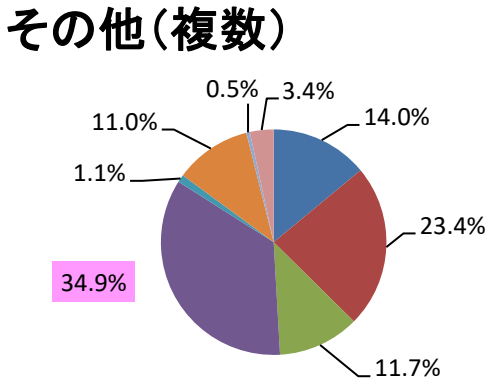
グラフ4 令和元年度対象別学習内容別学級・講座数（構成比）







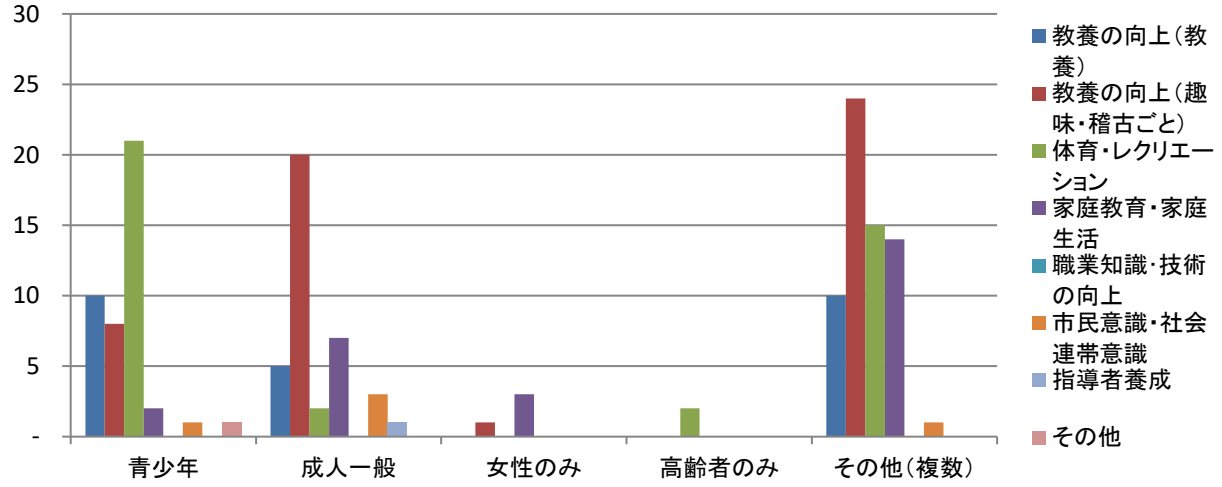




(4) 各地区対象別講座状況

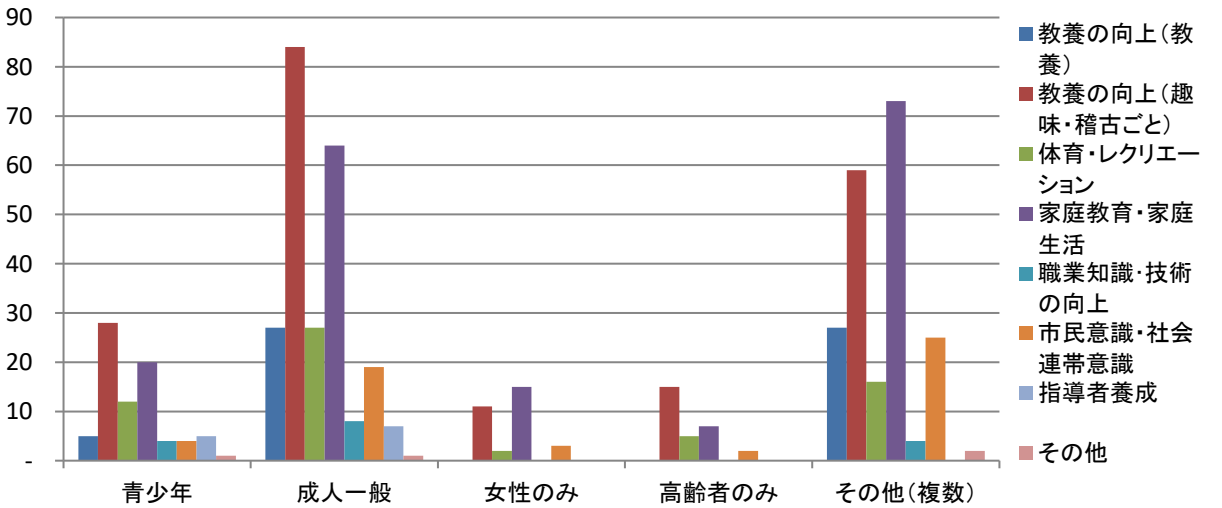
① 国頭地区

	合計	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他
		教養	趣味・稽古ごと						
合計	151	25	53	40	26	−	5	1	1
青少年	43	10	8	21	2	−	1	−	1
成人一般	38	5	20	2	7	−	3	1	−
女性のみ	4	−	1	−	3	−	−	−	−
高齢者のみ	2	−	−	2	−	−	−	−	−
その他（複数）	64	10	24	15	14	−	1	−	−



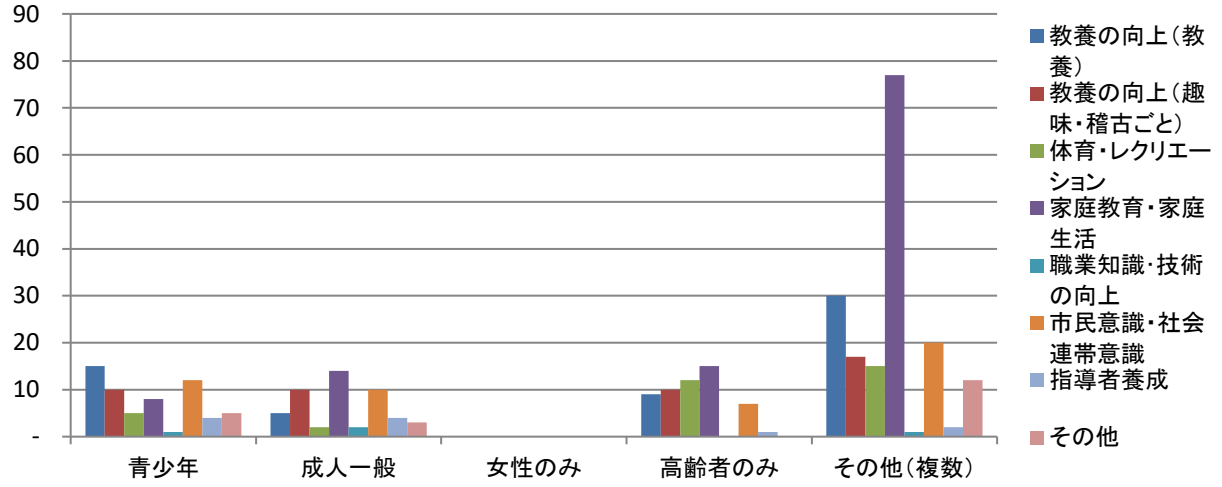
② 中頭地区

	合計	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他
		教養	趣味・稽古ごと						
合計	582	59	197	62	179	16	53	12	4
青少年	79	5	28	12	20	4	4	5	1
成人一般	237	27	84	27	64	8	19	7	1
女性のみ	31	−	11	2	15	−	3	−	−
高齢者のみ	29	−	15	5	7	−	2	−	−
その他（複数）	206	27	59	16	73	4	25	−	2



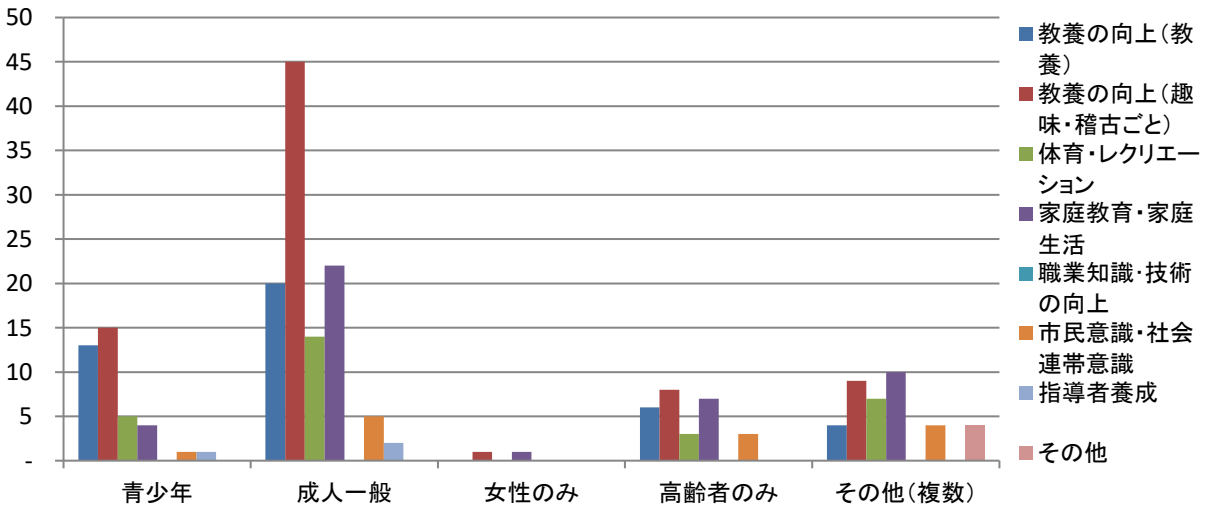
③ 那覇地区

	合計	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他
		教養	趣味・稽古ごと						
合計	338	59	47	34	114	4	49	11	20
青少年	60	15	10	5	8	1	12	4	5
成人一般	50	5	10	2	14	2	10	4	3
女性のみ	–	–	–	–	–	–	–	–	–
高齢者のみ	54	9	10	12	15	–	7	1	–
その他（複数）	174	30	17	15	77	1	20	2	12



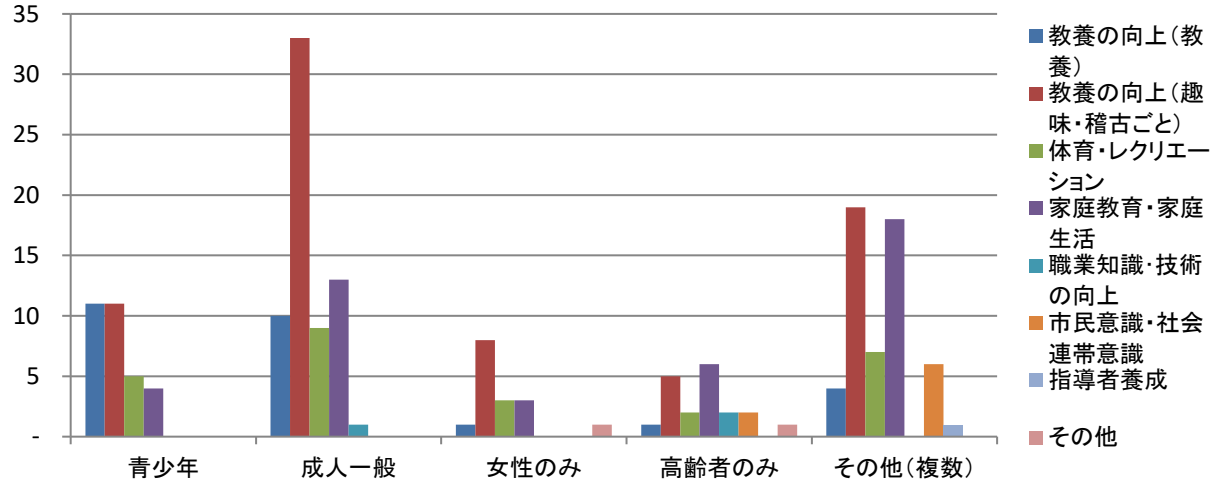
④ 島尻地区

	合計	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他
		教養	趣味・稽古ごと						
合計	214	43	78	29	44	–	13	3	4
青少年	39	13	15	5	4	–	1	1	–
成人一般	108	20	45	14	22	–	5	2	–
女性のみ	2	–	1	–	1	–	–	–	–
高齢者のみ	27	6	8	3	7	–	3	–	–
その他（複数）	38	4	9	7	10	–	4	–	4



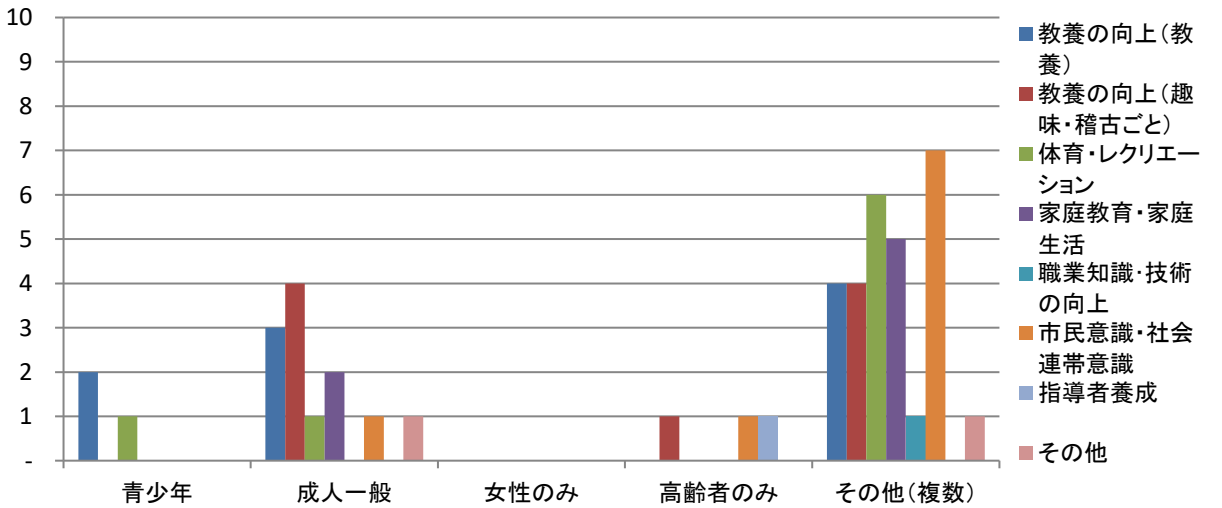
⑤ 宮古地区

	合計	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他
		教養	趣味・稽古ごと						
合計	187	27	76	26	44	3	8	1	2
青少年	31	11	11	5	4	－	－	－	－
成人一般	66	10	33	9	13	1	－	－	－
女性のみ	16	1	8	3	3	－	－	－	1
高齢者のみ	19	1	5	2	6	2	2	－	1
その他（複数）	55	4	19	7	18	－	6	1	－



⑥ 八重山地区

	合計	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他
		教養	趣味・稽古ごと						
合計	46	9	9	8	7	1	9	1	2
青少年	3	2	－	1	－	－	－	－	－
成人一般	12	3	4	1	2	－	1	－	1
女性のみ	－	－	－	－	－	－	－	－	－
高齢者のみ	3	－	1	－	－	－	1	1	－
その他（複数）	28	4	4	6	5	1	7	－	1



（5）生涯学習講座受講者数

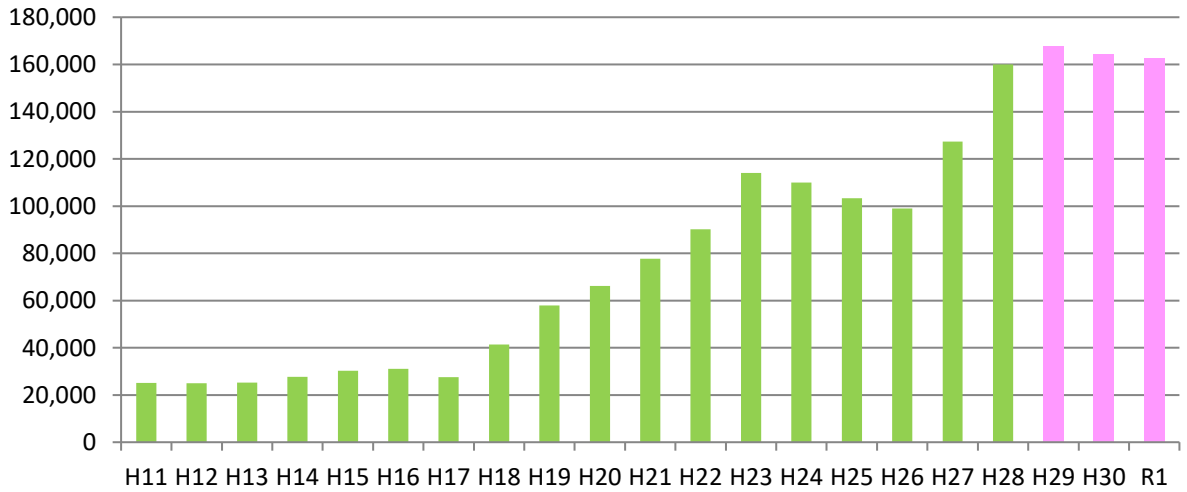
生涯学習講座の受講者数の推移として、調査開始以降、平成24年度から平成26年度までを除き増加傾向にある。受講者数は、平成29年度に167,674人で過去最高を記録しその後令和元年度まで160,000人を超えている。

令和元年度地区別受講者数を、人口比率で比較すると宮古地区27.5%で最も高く、続いて、国頭地区19.3%、那覇地区の16.7%の順になっている。県全体では11.2%であった。

①講座受講者数の推移

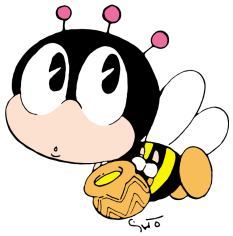
年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
市町村講座	25,140	25,028	25,191	27,694	30,277	31,065	27,503
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
市町村講座	41,405	57,884	66,245	77,657	90,168	114,114	109,925
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
市町村講座	103,325	99,045	127,295	159,963	167,674	164,222	162,763

講座受講者数の推移グラフ



②令和元年度地区別受講者数

	受講者数	人口	比率（R1）	比率（H30）
合計	162,763	1,451,392	11.2%	11.3%
国頭地区	22,796	118,093	19.3%	13.2%
中頭地区	32,699	524,556	6.2%	7.7%
那覇地区	74,132	442,625	16.7%	17.6%
島尻地区	12,538	259,333	4.8%	5.3%
宮古地区	14,488	52,642	27.5%	26.0%
八重山地区	6,110	54,143	11.3%	5.9%



※人口は、平成31年3月1日現在推計人口（出典　県企画部統計課）

３ まとめ

本調査は、令和元年度に各市町村教育委員会が実施した講座及び公民館等で開催された学級・講座等に対する受講者数と、受講者の対象者別及び学習内容分野別を調査した結果となっている。

集計結果によると、令和元年度に各市町村で開催された学級・講座数は 1,518 件で、延べ 162,763 人の県民が生涯学習講座を受講した。受講者数は過去最高であった平成 29 年度（167,674 人）以降３年連続で 160,000 人を超えている。

＜調査結果（１）令和元年度市町村教育委員会対象者別学級・講座＞

対象別で分類した学級・講座数（表１）から、「その他（複数）」「成人一般」対象の講座をあわせると全体の約 71％と多いのに対し、「女性のみ」「高齢者のみ」をあわせた割合は全体の約 12％と低い結果となった。このことから、各講座の企画の際には講座数の多い「その他（複数）」「成人一般」「青少年」対象講座の更なる充実を図りつつ、「女性のみ」「高齢者のみ」対象の講座の開催時期の検討、受講者のニーズの把握、魅力ある学習プログラム開発に取り組む必要がある。

＜調査結果（２）令和元年度市町村教育委員会学習内容別学級・講座数＞

学習内容別で分類した結果（表２）から、平成 30 年度社会教育調査（主催：文部科学省・３年に１度実施）の構成比と比較すると、沖縄県は「教養の向上（教養・趣味・稽古ごと）の割合が 8.7％上回っているのに対し、「体育・レクリエーション」の割合は 5.8％、「家庭教育・家庭生活」は 4.5％下回っている。

＜調査結果（３）令和元年度対象別学習内容別学級・講座数＞

対象者別の学習内容状況（表３）から、「青少年」「成人一般」「高齢者のみ」対象者では「教養の向上（趣味・稽古ごと）」の学習内容が多く、「女性のみ」「その他（複数）」対象者では「家庭教育・家庭生活」の学習内容が多くなっている。全体的にみると、「職業知識・技能の向上」「市民意識・社会連帯意識」「指導者養成」の学習内容の講座数が少ない。今後は、それぞれの学習対象者のニーズにあわせた学習内容の講座を開発する必要がある。

県教育委員会としては、県民一人一人のライフステージや生活課題に応じた学習活動に取り組むことができる環境の醸成や、地域住民が主体的に地域課題の解決と、地域づくりに向けた行動ができるよう学びを通して支援する。そのために、社会教育主事養成や社会教育主事有資格者への専門的知識・技能に関する研修、地域における生涯学習・社会教育指導者の養成及び資質向上研修会を実施し地域住民の自主的・自発的な学習を促していく。

また、令和２年度より、社会教育主事講習の修了証書授与者は「社会教育士」を称することができる。「社会教育士」には地域社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されている。今後は、社会教育士と社会教育主事との連携・協働や社会教育士同士の連携を深めることで、各地域の生涯学習社会の充実・活性化を支援していきたい。